

抱えている課題

企業の悩み



- 従業員の人材育成を進めるにあたって、どこから手を付ければよいのかわからない。
- 職場のリーダーとなるコア人材の育成が難しい。
- 若手（人材）に仕事のやりがいと目標を持たせたい。
- 従業員の強みや弱みを把握したい。
- 採用する人材に必要なスキルを明らかにしたい。
- 研修の効果を把握したい。
- 熟練者が退職すると、会社のノウハウが途絶えてしまう。

従業員の悩み

- できる仕事の幅を広げたい。
- スキルアップしたいけど、何をしたらよいか分からない。

課題解決のための 取組内容

従業員育成



① 仕事の見える化

現在の職務を分析し、仕事、作業に必要な職業能力（知識、技能・技術）を整理します。

② 能力の見える化

職務の分析結果を踏まえて、各従業員の職業能力（知識、技能・技術）を把握します。

③ 目標の見える化

各従業員の職業能力を把握した結果を踏まえ、従業員育成のための目標を設定します。

④ 能力開発の見える化

各従業員の目標を達成するために、人材育成計画を立てて、教育訓練等を実施します。

アウトプット（成果）

企業の成果



- 課題解決に向けた育成計画と教育訓練コースの実施ができた。
- 改善提案が出るようになり職場が活性化された。
- 若手の仕事に対する意欲と自己啓発の意欲が向上した。
- 従業員のスキルチェック（強みと弱みの把握）とそれを把握する基準ができた。
- 職業能力の向上を図るキャリアルートが作成できた。
- 技能伝承を含めた育成マニュアルが作成できた。

従業員の成果

- 新しい仕事ができるようになった。
- 目標に合った教育訓練を受けたことによりスキルアップできた。